はじめに

東京都は、「東京都平和の日条例」で、3月10日を「東京都平和の日」と定め、平和の意義を確認するとともに、平和意識の高揚を図るため、記念行事を実施しております。

平成29年度は、3月10日、東京都庁において「第28回東京都平和の日記念式典」を開催いたしました。

記念式典の冒頭に東京大空襲をはじめ戦災で亡くなられた方々を追悼し、世界の恒久平和を願って黙とうを行い、厳粛な雰囲気の中で式典が執り行われました。

式典に引き続き、東京都交響楽団による記念公演を行い、「追悼と平和への祈り」の気持ちを新たにしました。

また、記念行事の一環として、東京芸術劇場、調布市文化会館たづくり及び武蔵村山市役所において、「東京空襲資料展」を開催いたしました。

本報告書は、今回の東京都平和の日記念行事についてまとめたものであり、平和の大切さを確認していただくための一助となれば幸いです。

結びになりますが、今回の東京都平和の日記念行事の実施にあたり、御協力をいただいた皆様に心から御礼を申し上げます。

平成30年3月

東　京　都

目 次

はじめに …… 1

第一章／記念式典 …… 3

概要 …… 4

主催者挨拶　東京都知事　小池 百合子 …… 6

東京都議会議長　尾崎 大介 …… 7

来賓挨拶　在日外交団代表 …… 8
駐日エルサルバドル共和国特命全権大使
マルタ・リディア・セラヤンディア・シスネロス閣下

東京空襲被災者代表　新井 純子様 …… 10

式典風景 …… 11

記念公演 …… 14

第二章／普及啓発 …… 19

告知 …… 20

第三章／関連事業 …… 23

東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑 …… 24

「東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑」花壇デザイン画募集 …… 25

東京空襲資料展 …… 30

東京空襲資料展 チラシ …… 32

東京空襲資料展 展示品一覧 …… 34

東京空襲写真パネル展示 …… 39

第四章／資料 …… 41

アンケート用紙 …… 42

アンケート集計結果 …… 43

東京都平和の日条例 …… 49

東京都民平和アピール …… 50

第一章
記念式典

概 要

第28回東京都平和の日記念式典

日時	平成30年3月10日(土) 午後2時～午後3時30分	
場所	東京都庁第一本庁舎 5階 大会議場	
プログラム	午後1時00分	開場・受付
	午後2時00分	記念式典
	午後2時30分	休憩
	午後2時45分	記念公演

※インターネット中継（東京動画)を実施

式次第

✶ **黙とう**

✶ **国歌斉唱**

✶ **主催者挨拶**

東京都知事	小池 百合子
東京都議会議長	尾崎 大介

✶ **来賓挨拶**

在日外交団代表	駐日エルサルバドル共和国特命全権大使 マルタ・リディア・セラヤンディア・シスネロス閣下
東京空襲被災者代表	新井 純子様

Memorial Ceremony Program

The 28th Tokyo Metropolitan Peace Day Memorial Ceremony

■Date and time Saturday, March 10, 2018 2:00PM - 3:30PM

■Venue Tokyo Metropolitan Government Building No.1
5th Floor, Main Conference Hall

■Program
1:00PM Open
2:00PM Memorial Ceremony
2:30PM Intermission
2:45PM Memorial Concert

※ Live broadcast on the Internet
(Tokyo Metropolitan Government Official Video Channel)

Memorial Ceremony

Silent Prayer

National Anthem of Japan

Greetings from the Organizers

Governor of Tokyo **Yuriko Koike**
President of the Tokyo Metropolitan Assembly **Daisuke Ozaki**

Messages from the Distinguished Guests

Dean of the Diplomatic Corps
Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of the Republic of El Salvador
H.E. Mrs. Martha Lidia ZELAYANDIA Cisneros

Representative of the Tokyo Air Raid Victims **Mrs. Junko Arai**

主催者挨拶

東京都知事
小池　百合子

本日ここに、御遺族の皆様、都民の皆様、在日外交団を始めとする御来賓の皆様をお迎えして、「第28回東京都平和の日記念式典」を執り行うに当たり、御挨拶を申し上げます。

先の大戦で、東京は、度重なる空襲により甚大な被害を受けました。なかでも、73年前の3月10日の大空襲によって、下町一帯は焦土と化し、一夜にして10万人ともいわれる尊い命が奪われました。

粘着性の高い油脂を詰めた焼夷弾は着弾とともに飛散し、火のついた油脂がもたらした猛火は、一面を焼け尽くすまで、止むことがなかったと、この空襲を経験された方々から、お話を伺いました。当時幼いながらも懸命に生き抜かれた皆様の御労苦には、頭が下がる思いです。

希望に満ちた人生を突然にして奪われた方々や、その後の人生を翻弄され、今なお、悲しみとともにある御遺族のお気持ちに思いを致しますと、とても言葉には言い表せないような痛みを感じます。

東京都民を代表し、尊い命を奪われた御霊に謹んで哀悼の誠を捧げ、御遺族の皆様に心から追悼の意を表します。

今日、私たちが享受している平和と繁栄は、多くの都民の尊い犠牲と、先人たちの懸命の努力の上に築かれたものです。戦争を知らない世代が社会の大半を占めるようになった今、空襲の記憶を風化させることがあってはいけない。この思いを胸に、しっかりと、次の世代に語り継ぎ、平和の大切さを伝えていくことが、私たちの使命であります。

東京都では、平和の意義を確認し、戦争の惨禍を再び繰り返さないことを誓い、3月10日を「東京都平和の日」と定め、毎年、この式典を始め、関連行事を実施しております。

都立横網町公園内には、「東京空襲犠牲者を追悼し平和を祈念する碑」を建設し、内部には「東京空襲犠牲者名簿」を納めています。本年は、新たに153名の方々のお名前を追加し、合計81,058名の方々が登載されております。

祈念碑を覆う花壇は、都内の小中高生が描いたデザイン画を基に、四季折々の花々を用いて、年間を通じて、生命の息吹と尊さを伝えています。

世界に目を向けると、憎悪や排斥による地域紛争や、卑劣なテロ行為が今なお続き、罪なき多くの人々が尊い命を失っています。飢餓や貧困に苦しむ人々も多くいらっしゃいます。寛容と協調の精神が失われ、争いや軋轢を生み出す構造は、国際社会の安定にとって、最大の脅威であると言わざるを得ません。

昨日、平昌では、オリンピック冬季競技大会に続き、パラリンピック大会が開幕しました。この世界最高の舞台で頂点に立つことを目指し、たゆまぬ努力と鍛錬を重ねてきたアスリートたちも、ひとたび競技が終われば、国境や民族、文化や言葉の壁を越えて笑顔で交流し、互いを称えあう姿が伝えられています。

この平和の祭典ともいわれるオリンピック・パラリンピック競技大会が、2年後には、東京で開催されます。都民の皆様とともにこの大会を成功させ、平和国家日本の首都東京から、世界の恒久平和実現への力強いメッセージを発信してまいりたいと思います。そして、子や孫の世代までも、発展を続ける東京の実現に向けて力を尽くしていくことを、改めてお誓い申し上げます。

結びに、犠牲となられた方々の御冥福と御遺族の皆様の御健勝、御多幸を心からお祈り申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

主催者挨拶

東京都議会議長
尾崎　大介

本日ここに、御遺族をはじめ、平和を願う都民の皆様とともに、第28回「東京都 平和の日」記念式典を執り行うに当たり、東京都議会を代表いたしまして、御挨拶を申し上げます。

あの惨烈をきわめた先の大戦が終わりを告げ、早や73年の歳月が過ぎ去ろうとしております。

国の内外において、多くのかけがえのない尊い命が失われましたことは、永遠に忘れることのできない深い悲しみであります。

東京は、昭和17年4月18日以来、度重なる空襲に堪えてまいりましたが、昭和20年3月10日の東京大空襲では、一夜にして、下町地区を中心とした東京が焦土と化し、多くの都民が犠牲となりました。

最愛の肉親を失われた御遺族の皆様方の御心情を拝察する時、73年を経た今日においても悲痛の思いが胸に迫ってまいります。

戦後、日本は、平和を願う国民一人ひとりの英知とたゆみない努力により、幾多の困難を乗り越え、今日の繁栄を築き上げてまいりました。

東京も今や世界有数の経済都市の地位を維持し、更なる発展を続けております。

しかし、今日、私たちが享受する平和と繁栄は、こうした重く尊い犠牲の上に築かれてきたものであることを、ひとときも忘れてはなりません。

私たちは改めて、戦争の悲惨さを心に刻み、この記憶を風化させることなく後世に語り継ぐとともに、強い意思を持って、平和な社会の実現に取り組まなければなりません。

一方、世界に目を転ずれば、未だにテロや地域紛争により平和を脅かす状況が続いております。

東京都議会といたしましては、戦争の惨禍を再び繰り返すことのないよう、平和を求める都民の願いを込め、すべての国々による核兵器等の廃絶を世界に訴えるなど、世界の恒久平和の実現に取り組んでまいりました。

これからも、すべての都民が安心し、真に豊かな生活を送ることの出来る平和な社会を構築することが、犠牲となられた方々に対する私たちの責務であることを深く胸に刻み、より一層の努力を傾注してまいる所存でございます。

結びに、戦災で犠牲となられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、御列席の皆様の御健勝・御多幸を心から祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

来賓挨拶

在日外交団代表
駐日エルサルバドル共和国特命全権大使
マルタ・リディア・セラヤンディア・シスネロス閣下

小池百合子　東京都知事、
尾崎大介　東京都議会議長、
東京空襲被災者代表　新井純子様、
御列席の各国大使の皆様、ご来賓の皆様、会場の皆様

本日、このような場にお招きいただきまして光栄に思います。

1945年3月に数日にわたって、特に10日に行われた空襲は、東京の多くの建物が破壊され100万人を超える罹災者が家を失うなどしたといわれる無差別攻撃でした。一日で10万人以上が亡くなりました。犠牲者のほとんどが幼い子供から高齢者まで幅広い年代の一般市民であり、尊い命が失われた痛ましい出来事に痛恨の念を感じます。戦時中とはいえこの行為を正当化できる理屈は存在しません。

あれから73年経った今、ご遺族の方々、過酷な中で生きつないできた方々、日本人がこの現在の東京を素晴らしい都市に立て直されました。その力の源（みなもと）にあるものは何なのでしょうかと良く考えてみました。そのひとつは、日本人が持っている『和』の心ではないでしょうか。

日本語には、この『和』という言葉を使った単語や言い回しが数多くあります。『和風』『大和』『お出かけ日和』『和やかな』、そして『調和』や『平和』という言葉もそうです。

私は改めてこの不思議な『和』と言う言葉の意味を辞書で調べてみたところ、そこには『協力しあう気持ち』や『うまく調和がとれていること』、『争わない』、『仲良くする』、『日本』、『日本風』、『日本国』等とも書かれていました。言葉の意味から、和のある日本、日本の和、そこから“平和”を意味しているようにも解釈できると思えてなりません。

私の母国エルサルバドルでは1970年代後半、昭和40年代後半から1990年代初め、平成の初めにかけて、内戦が起きました。そしてその終結のために取られた方法は平和協定の署名でした。これが実現できたからこそ平和を愛する国家としての評価を得ました。

平和とは誰もが望むものであるにもかかわらず、現在もさまざま国や地域で争いが続いています。このような戦争や争いが起きないためにどうしたらいいでしょうか。

それぞれの国の指導者をはじめとする、社会の一人ひとりが日々の中に“調和”の気持ちをもち、日本にある“和”の心を養っていけたらと思います。

そしてひとりひとりができることから、和を思い、心の平和、家族の平和、町の平和、国の平和、世界の平和発展へとつながっていき、平和意識を高めていくことを強く願います。

最後に、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りし、挨拶の言葉といたします。

Ambassador Extraordinary and Plenipotentiary of the Republic of El Salvador
H.E. Mrs. Martha Lidia ZELAYANDIA Cisneros

Her Excellency Ms. Yuriko Koike, Governor of Tokyo
Honourable Daisuke Ozaki, President of Tokyo Metropolitan Assembly
Ms. Junko Arai, Representative of Tokyo Air Raid Victim
Excellencies, Distinguished Guests
Ladies and Gentlemen

It is with a great pride that I participate to this Commemoration of Tokyo Metropolitan Peace Day. The air raid over a period of days in March 1945, especially on the March 10th, destroyed the city and more than 1,000,000 people lost their houses in Tokyo. A single day of fire killed more than 100,000 people. Most of victims are wide range of ordinary citizens, from young children to the elderly. I feel great regret to this tragedy having lost precious lives. Even under the war time, there is no reason to justify this act.

Now, seventy three years has passed since then, bereaved families, people survived through challenging conditions and Japanese people has rebuilt the city of Tokyo as today's great city. I have come to think of what is the source of such a power. It is, I think, "wa no kokoro" the mind of harmony which Japanese people have.

There are many words and phrases using the word "wa" in Japanese. "Wa-fu"(Japanese style), "Yamato"(ancient name of Japan), "Odekake-biyori"(nice weather to go out), "Nagoyaka-na"(calm), and moreover, such words as "Cho-wa"(harmony) and "Hei-wa"(peace).

I looked up in a a dictionary once again and found meanings such as "mind to help each other", "being harmonized" and "do not fight each other", "be friends", "Japan", "Japanese style" and "the country of Japan". Considering these meanings of the word, I think harmonized Japan and harmony of Japan come to indicate "wa" as "peace".

In my country, Republic of El Salvador, a civil war broke out in the late 1970's, which is late 40's in Showa era, and continued to the early 1990's, early Heisei era. The way to end the war was to sing a peace pact. Having realized this, we receive reputations as a country which loves peace.

Peace is what everyone wants, however, today wars are continued in various countries and regions. What should we do to prevent wars and conflicts?

It is, everyone in the society including leaders of each countries, to have "harmony" in their mind in everyday life and foster the spirit of "wa" of Japan in their mind.

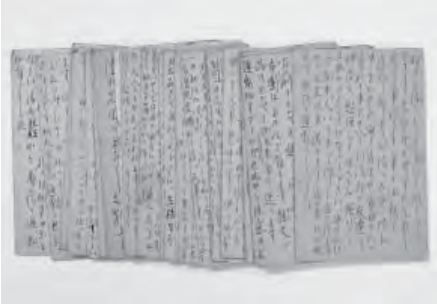
Starting with thinking of "wa", that is what each of us can do, and that leads us to peace of mind, peace of family, peace of town, peace of country and eventually it leads to peace of the world. I strongly hope it rises the consciousness of peace.

Finally, I would like to pray for those who lost their lives in the war. Thank you.

来賓挨拶

東京空襲被災者代表

新井　純子様



御紹介に預かりました新井純子と申します。昭和20年3月10日の東京大空襲の折、私は浅草区立山谷堀国民学校の5年生で、宮城県川渡温泉に学童疎開をいたしておりました。そのため空襲には遭遇いたしておりませんが、父、祖母、親戚あわせて11名を亡くしました。全員行方不明でございました。母から疎開先への知らせには、時間がかかっても必ず父を捜すので、私にも気持ちをしっかり持って待つようにと書いてありましたが、残念ながら叶いませんでした。空襲の夜、父は母に対して一緒に避難して2人が死ぬようなことがあれば、私が1人残され戦争孤児になってしまうので、別行動を取ろうと言ったそうです。母は大変不安でしたが、父の言葉に従い、祖母を連れて隅田川に避難しました。土手の安全な場所に祖母を座らせ、自分は橋桁に体を帯で縛り流されないようにしておりましたが、目の前で祖母が後から避難して来た人達の下敷きになってしまい、それを助けることができなかったと大変悔やんでおりました。また、従姉は赤ちゃんをおんぶして、3才の娘の手を引きながら炎の中を逃げ回り、気が付いた時には背中の赤ちゃんはいなくなっていたと悲しみ悔やんでおりました。母も従姉も、二度と戦争はあってはならないと常に申しておりました。早く戦争が終わることを念じておりました父も、さぞ無念であったろうと存じます。

当時、父から疎開先の私に毎週のように手紙が届き40通程が唯一の形見として73年の時を経て残っております。それには、お世話になっている先生、寮母さん、村の方々への感謝の気持ちや、お友達とは仲良く、勉強は怠るな等、励ましや小言といろいろ書いてありました。当時は、子供心に疎ましく思うこともございましたが、手元に置くことのできない我が子に書かずにはいられなかったのだろうと、かなり後になって推し量ることができました。また、父からの手紙には、刻々と変わっていく東京の様子や空襲が激しくなり毎晩警報が出たり、雷門の近くに焼夷弾が落ちて電車が焼け多くの死傷者が出たこと、東京は物資も乏しくみんな堪えて生活をしているので、私にもそちらでどんな辛いことにも堪えて戦争が終わるまで頑張るように、また、頑張っているのは日本の子供だけではない、相手の国の子供達も同じように頑張っているのだから、それに負けるようではいけないとも書いてありました。父からの最後の手紙は、東京大空襲数日前の3月4日の消印でした。その最後の手紙を読ませていただきます。「今日は3月のお節句ですが、戦争下勝ち抜くまで不自由を忍び懸命に働いております。先日荷物を送ってから返事が来ないので、母は心配しております。最早何も送って上げぬと申しております。また、注文を出しても東京には只今何にも送ってやる物はありません。お詫びのはがきを出しなさい。　父より」このような内容でございました。

今日私がここに立たせていただきましたのは、早く戦争が終わり離ればなれになっている家族が揃って暮らせる日が来ることを願いながら犠牲になられた多くの方々の御冥福をお祈りし、戦争のない平和な世界を築いて行くことが残された私どもの使命だと考えたからです。重ねて世界の恒久平和を心より祈念いたしまして、結びの言葉とさせていただきます。ありがとうございました。

式典風景

会場全景

黙とう

式典風景

東京都知事挨拶

東京都議会議長挨拶

在日外交団代表挨拶

東京空襲被災者代表挨拶

登壇者（主催者）

登壇者（来賓）

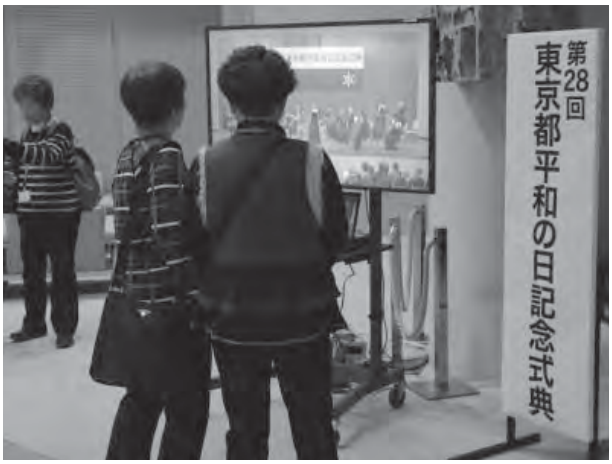
式典等風景

バス受付風景（横網町公園）

バス乗車風景（横網町公園）

式典受付風景

式典受付風景



会場風景（ロビー）

会場風景

記念公演

第28回東京都平和の日記念公演
「追悼と平和への祈り」
～東京都交響楽団メンバーによるアンサンブル～

日時　平成30年3月10日（土）午後2時45分～午後3時30分
場所　東京都庁第一本庁舎 5階 大会議場
演奏　東京都交響楽団

プログラム

～戦争犠牲者のための追悼として～

◆ J. S. バッハ　：管弦楽組曲第３番 BWV.1068より「アリア」

◆ カッチーニ　：アヴェ・マリア
◆ プッチーニ　：歌劇「ジャンニ=スキッキ」より『私のお父さん』

～青少年とのジョイント～

◆ モーツァルト　：アイネ・クライネ・ナハトムジーク ト長調 K.525 第１楽章

◆ モーツァルト　：アイネ・クライネ・ナハトムジーク ト長調 K.525 第２楽章、第３楽章、第４楽章
◆ 菅野よう子　：『おんな城主 直虎』テーマ曲「天虎～虎の女」

～みんなで歌うコーナー～

◆ 高野辰之 作詞、岡野貞一 作曲：『ふるさと』
◆ 江間章子 作詞、團伊玖磨 作曲：『花の街』

Memorial Concert Program

The 28th Tokyo Metropolitan Peace Day Memorial Concert

"Mourning and Pray For Peace"

By the Members of the Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

Date and time Saturday, March 10, 2018 2:45PM - 3:30PM

Venue Tokyo Metropolitan Government Building No.1
5th Floor, Main Conference Hall

Performer Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra

Program

～ Dedication to the War Victims ～

◆ J. S. Bach : Aria from Orchestral Suite No. 3, BWV. 1068

◆ Caccini : Ave Maria

◆ Puccini : Aria from Opera Gianni Schicchi "O mio babbino caro"

～ Performance with Young people ～

◆ W. A. Mozart : Serenade for Strings in G Major, K. 525
"Eine kleine Nachtmusik" 1st mvt.

◆ W. A. Mozart : Serenade for Strings in G Major, K. 525
"Eine kleine Nachtmusik" 2nd, 3rd and 4th mvts.

◆ Y. Kanno : Theme Song "Onna jōshu Naotora"
from *Amatora ~Torano Me*

～ Singing Together ～

◆ Furusato "My Home Town"

◆ Hana no Machi "Town of Flowers"

記念公演

公益財団法人 東京都交響楽団 プロフィール

東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立(略称:都響)。現在、大野和士が音楽監督、小泉和裕が終身名誉指揮者、エリアフ・インバルが桂冠指揮者、ヤクブ・フルシャが首席客演指揮者(2018年3月任期満了)を務めている。なお、首席客演指揮者には、2018年4月よりアラン・ギルバートが就任する。

定期演奏会などを中心に、小中学生への音楽鑑賞教室、多摩・島しょ地域での訪問演奏や福祉施設での出張演奏など、多彩な活動を展開。CDリリースは、インバルによる『マーラー交響曲集』のほか、交響組曲『ドラゴンクエスト』(全シリーズ)まで多岐にわたる。2013年には、「プラハの春」音楽祭に出演、創立50周年を迎えた2015年にはベルリン・ウィーンなど5ヶ国6都市をめぐるヨーロッパ・ツアーを行い、各地で熱烈な喝采を浴びた。

《首都東京の音楽大使》として、来たる東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、文化芸術の活性化を目指している。

公式ウェブサイト　http://www.tmso.or.jp/

記念公演

出演者

ソプラノ ： **松原 典子**

第１ヴァイオリン ： **山本 友重**
篠原 智子
及川 博史
塩田 脩
新田 僚
田中 雅子

第２ヴァイオリン ： **双紙 正哉**
遠藤 香奈子
山本 翔平
大和 加奈
沼田 雅行

ヴィオラ ： **村田 恵子**
小林 明子
林 康夫
萩谷 金太郎

チェロ ： **田中 雅弘**
柳瀬 順平
清水 詩織

コントラバス ： **渡邊 章成**
佐野 央子

ジョイント参加者 ： **日向 真耶**（小学５年生）
舘 美月（高校１年生）
勅使河原 ひかり（高校１年生）
町田 奈津実（高校１年生）